

～ 真理の道・誠の道・平和の道～

東 雲



平戸市立度島小中学校

学校だより No.15

令和6年8月9日(金)

文責：校長 園田栄作

## 平和への誓い！

### ～ 平和集会を通して考えました ～

8月9日、長崎に原子爆弾が落とされ、たくさんの命が奪われてから、79年が経ちました。長崎を故郷とする私たちは、決して「8月9日 11時2分」を忘れてはいけません。そして、最初の被害があった広島「8月6日 8時15分」も同じです。

2度と悲惨な戦争が起きないように、みんなで力を合わせて平和を守っていかなければなりません。そのために、本校では、本日、平和集会を行いました。平和集会では、戦争や原爆に関する各学年の発表を通して、子供たちは被害の大きさを改めて実感し、再び戦争を起こしてはいけないと強く感じました。次に、心を込めて「折り鶴」の歌を合唱しました。そのあと、度島小中学校の平和宣言を発表し、平和で明るい日々を築いていくために、力を尽くすことを誓いました。



#### ■度島小中学校平和宣言

- 1 私たちは、戦争を2度と繰り返さないよう、平和の大切さを次の時代に伝えていきます。
- 1 私たちは、みんなで助け合い、差別やいじめを許さず、相手の気持ちを考えて、一人一人の命を大事にします
- 1 私たちは、これからも永遠に平和を願い、積極的に毎日の学習と活動に取り組みます。

#### ■校長挨拶より

(～ 中略～) もし、戦争がはじまると、「戦争に出ていく人が出てきます」「亡くなる人が出るかもしれません」「好きなものを食べたり、買えたりできなくなるかもしれません」「いつ飛行機や爆弾が飛んでくるかもしれません」「住むところがなくなるかもしれません」。つまり安心して生活できなくなります。実は、こうして普通に生活している何でもない「当たり前」が、とても尊いことなのです。この「当たり前」は何もせずに成り立っているわけではありません。日本では、憲法という法律の中で「戦争はしません」という約束を決め、守っているから、安心して生活できています。

このことを「継続」することが大事です。そして、今でも世界では戦争をしている国があります。世界中のみんなが平和に暮らせるように、「創造」することが大事です。今日みんなが発表してくれたように、これからも平和について考えていきましょう。

## 大健闘！長崎県中学校総合体育大会

21日(日)、22日(月)に佐世保市で行われた長崎県中学校総合体育大会(卓球競技)に出場しました。各市町から予選を勝ち抜いた代表校による大会でしたので、レベルの高い試合が繰り広げられました。

団体戦では、男女とも、3チームによる予選において1勝1敗の結果で、惜しくも決勝トーナメント進出はなりません。男女とも1敗した試合は、最終セットに及ぶ大接戦で、もう一步のところでした。個人戦には、3名が出場しました。個人戦においても、接戦の試合ばかりで、惜しくも上位入賞にはなりません。レベルの高い出場者の中で、大いに力を発揮できたことは、今後につながる貴重な経験となりました。

会場には御家族をはじめ、卒業生や御親類の方にもたくさん来ていただき、大きな励みとなりました。ありがとうございました。



## 令和6年度ふるさとプロジェクト会議



2日(金)に、未来創造館にて、「ふるさとプロジェクト会議」が行われました。市内の各中学校の生徒会から2名ずつ参加(本校からは、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇〇さんが参加)し、平戸市のために自分ができることは何かを考え、黒田市長や松永教育長も含め、意見交換を行いました。

意見提案は、「学びの聖地 ひらど どうPRする?」「城泊に続く、廃校泊。どうPRする?」の2つでした。現実的に平戸市が抱えている課題について、中学生が当事者として、どう向き合い、アイデアを出し、実現させていくか、といった力を高める意義ある機会となりました。2人とも、課題に向き合い堂々と意見を発表することができました。20名近い参加者の中でしっかり発言できたことは、大きな自信となりました。また、同世代の仲間の意見を聞くことができたことも、いい刺激になったようでした。学校の次期リーダーとなる2年生2人のさらなる活躍が楽しみです。